

# (一社)北海道商工会議所連合会 中小企業景況調査報告書

## 第177回 調査概要

- ・調査対象期間 : 2025年1~3月期 実績  
2025年4~6月期 見通し
- ・回答数 : 364社
- ・発行日 : 2025年 4月 23日

### 今期業況・来期見通し

業況DIはマイナス継続。原材料価格上昇分の価格転嫁や賃上げがある程度できている一方で、消費マインドの悪化等を懸念する声が増えている。

#### ■主なコメント

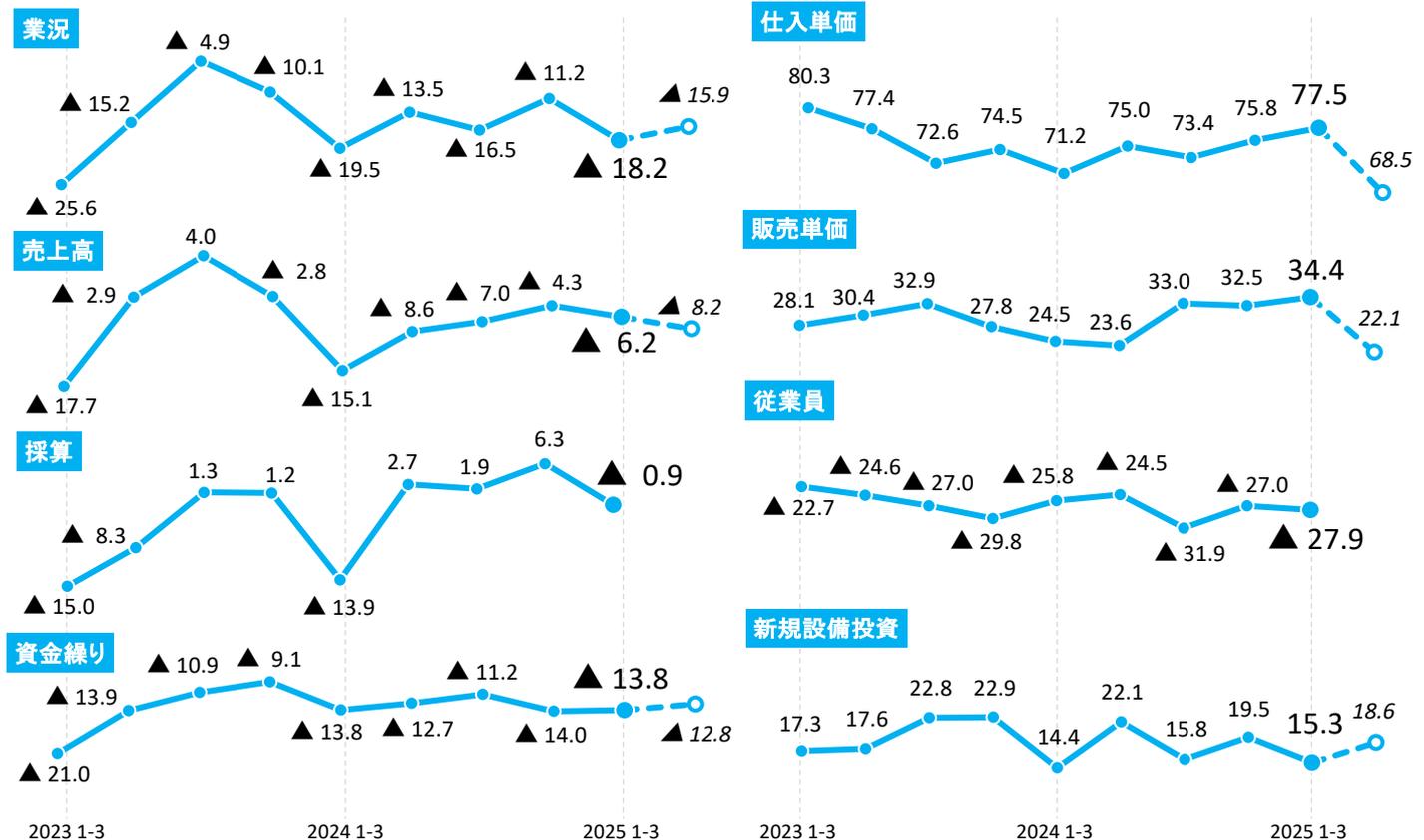
- ・商品の価格改定は都度実施も、米、野菜、エネルギー等の価格は高止まり。将来に対する漠然とした不透明感から、消費マインドは低下していると思われる。(食料品製造)
- ・建設資材の高騰に加え金利上昇もあり、新築の需要が減少。地元で働く40代前後のサラリーマンではローンが組めなくなっている。国に対し何らかの支援策を望む。(建築業)
- ・市内の人口が減少している中、消費者の節約志向が続いているのに加え、物価高騰や原油価格の上昇等により厳しい状況が続いており、経営への影響が懸念される。(クリーニング業)

#### ■全産業D・I

	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6(見通)
業況(前年同期比)	▲ 25.6	▲ 15.2	▲ 4.9	▲ 10.1	▲ 19.5	▲ 13.5	▲ 16.5	▲ 11.2	▲ 18.2	▲ 15.9
売上高(前年同期比)	▲ 17.7	▲ 2.9	4.0	▲ 2.8	▲ 15.1	▲ 8.6	▲ 7.0	▲ 4.3	▲ 6.2	▲ 8.2
採算(今期の経常損益)	▲ 15.0	▲ 8.3	1.3	1.2	▲ 13.9	2.7	1.9	6.3	▲ 0.9	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 21.0	▲ 13.9	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 13.8	▲ 12.7	▲ 11.2	▲ 14.0	▲ 13.8	▲ 12.8
仕入単価(前年同期比)	80.3	77.4	72.6	74.5	71.2	75.0	73.4	75.8	77.5	68.5
販売単価(前年同期比)	28.1	30.4	32.9	27.8	24.5	23.6	33.0	32.5	34.4	22.1
従業員(今期の過不足)	▲ 22.7	▲ 24.6	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 25.8	▲ 24.5	▲ 31.9	▲ 27.0	▲ 27.9	-
新規設備投資した割合	17.3	17.6	22.8	22.9	14.4	22.1	15.8	19.5	15.3	18.6

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。

○ 来期見通



# I. 業況

## 1. 今期

前年同期比

(2024年1~3月期の水準と比較した今期の業況)

全業種平均D・I 《好転—悪化》



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 18.2	12.8%	56.2%	31.0%	▲ 11.2
製造	▲ 37.5	5.4%	51.7%	42.9%	▲ 17.5
建設	▲ 19.5	9.7%	61.1%	29.2%	▲ 16.7
卸売	▲ 16.1	10.7%	62.5%	26.8%	▲ 10.5
小売	▲ 7.4	17.6%	57.4%	25.0%	▲ 5.9
サービス	▲ 10.8	20.4%	48.4%	31.2%	▲ 5.3

■好転 □不変 ■悪化

前期比

(2024年10~12月期の水準と比較した今期の業況)

業種別D・I値

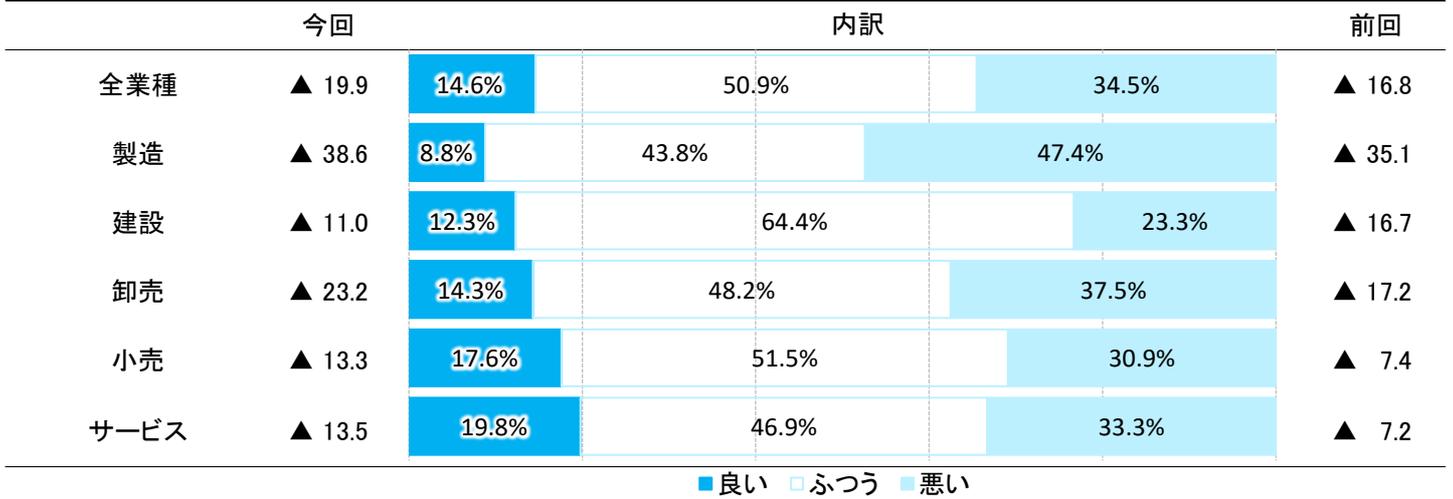
	今回	内訳			前回
全業種	▲ 18.4	11.3%	59.0%	29.7%	▲ 8.1
製造	▲ 33.3	5.6%	55.5%	38.9%	▲ 10.9
建設	▲ 15.3	12.5%	59.7%	27.8%	▲ 4.2
卸売	▲ 17.9	10.7%	60.7%	28.6%	▲ 14.1
小売	▲ 7.3	16.2%	60.3%	23.5%	▲ 3.0
サービス	▲ 18.1	11.7%	58.5%	29.8%	▲ 8.6

■好転 □不変 ■悪化

今期の水準

(2025年1~3月期の水準)

業種別D・I値

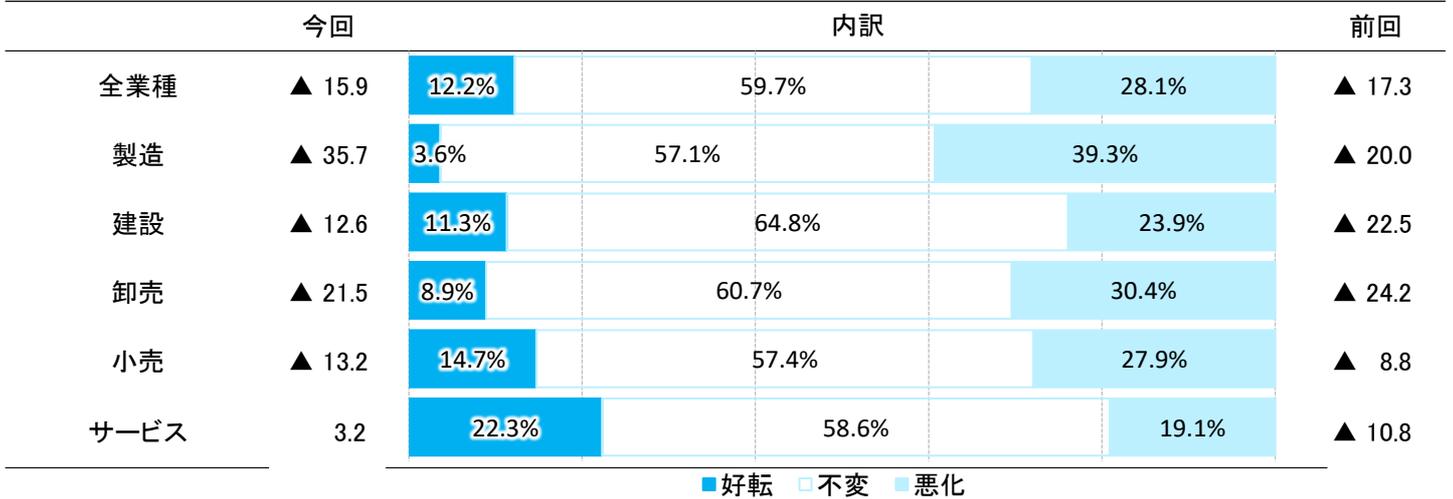


2. 来期

前年同期比

(2024年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

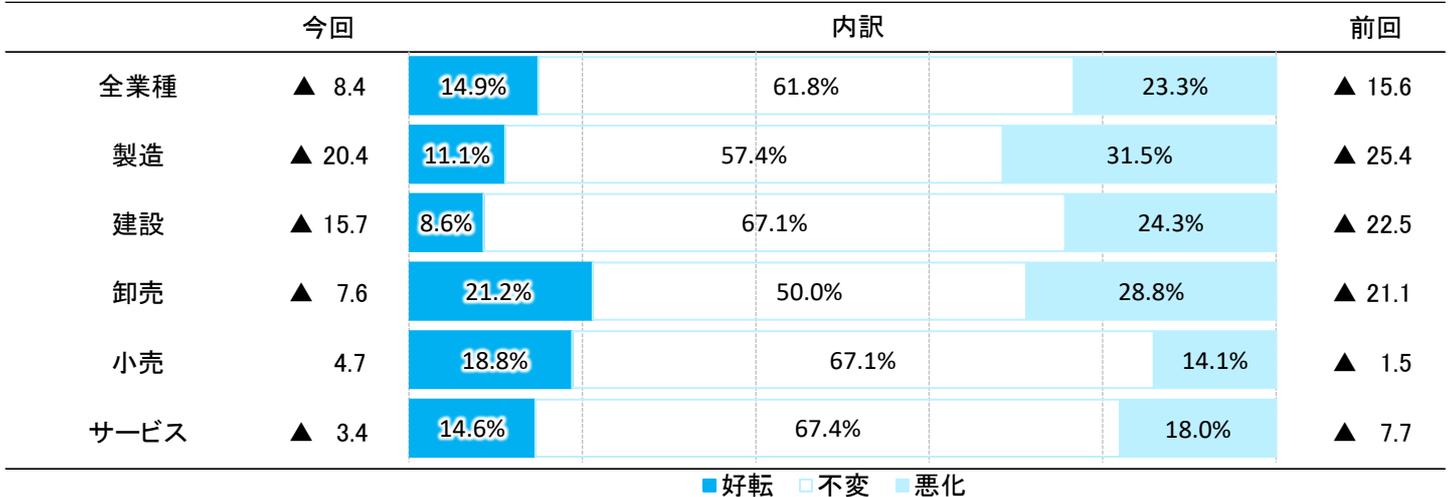
業種別D・I値



今期比

(2025年1~3月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値



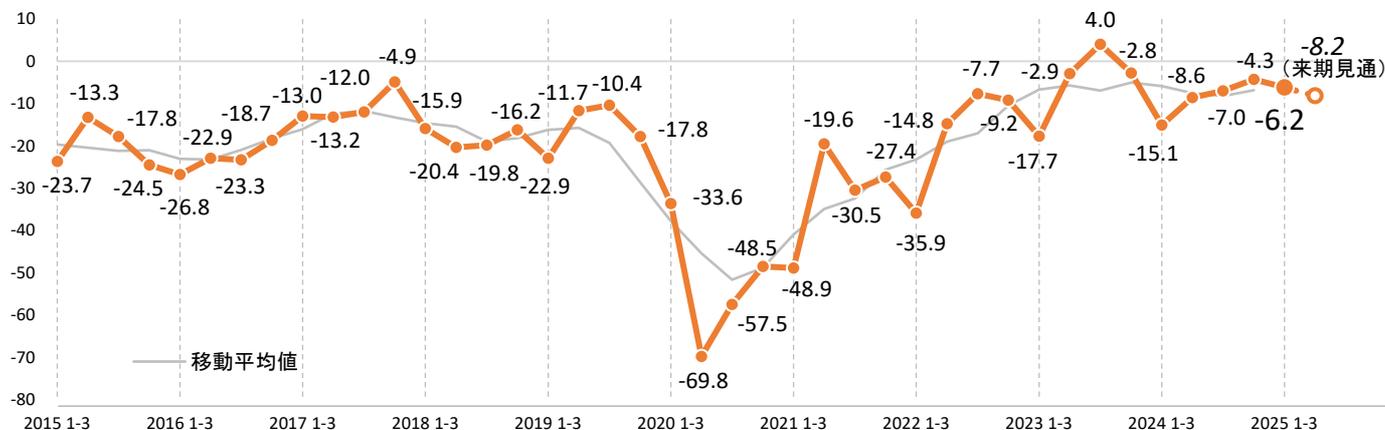
## Ⅱ. 売上高

### 1. 今期

前年同期比

(2024年1～3月期の水準と比較した今期の売上高)

全業種平均D・I ≪増加－減少≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 6.2	27.4%	39.0%	33.6%	▲ 4.3
製造	▲ 1.8	25.0%	48.2%	26.8%	▲ 19.3
建設	▲ 21.9	17.8%	42.5%	39.7%	▲ 16.6
卸売	▲ 3.6	32.1%	32.2%	35.7%	▲ 5.1
小売	▲ 1.4	34.8%	29.0%	36.2%	5.9
サービス	▲ 2.1	27.4%	43.1%	29.5%	13.5

■ 増加 □ 不変 ■ 減少

前期比

(2024年10～12月期の水準と比較した今期の売上高)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 23.5	21.0%	34.5%	44.5%	▲ 3.1
製造	▲ 27.2	16.4%	40.0%	43.6%	7.1
建設	▲ 17.9	20.5%	41.1%	38.4%	▲ 1.4
卸売	▲ 35.8	19.6%	25.0%	55.4%	▲ 10.4
小売	▲ 18.9	27.5%	26.1%	46.4%	▲ 7.4
サービス	▲ 17.7	20.8%	40.7%	38.5%	▲ 3.1

■ 増加 □ 不変 ■ 減少

### 2. 来期

前年同期比

(2024年4～6月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 8.2	20.7%	50.4%	28.9%	▲ 10.7
製造	▲ 21.4	12.5%	53.6%	33.9%	▲ 14.3
建設	▲ 9.7	15.3%	59.7%	25.0%	▲ 38.0
卸売	▲ 14.3	21.4%	42.9%	35.7%	▲ 8.6
小売	0.0	29.0%	42.0%	29.0%	11.8
サービス	4.2	25.3%	53.6%	21.1%	▲ 4.2

■ 増加 □ 不変 ■ 減少

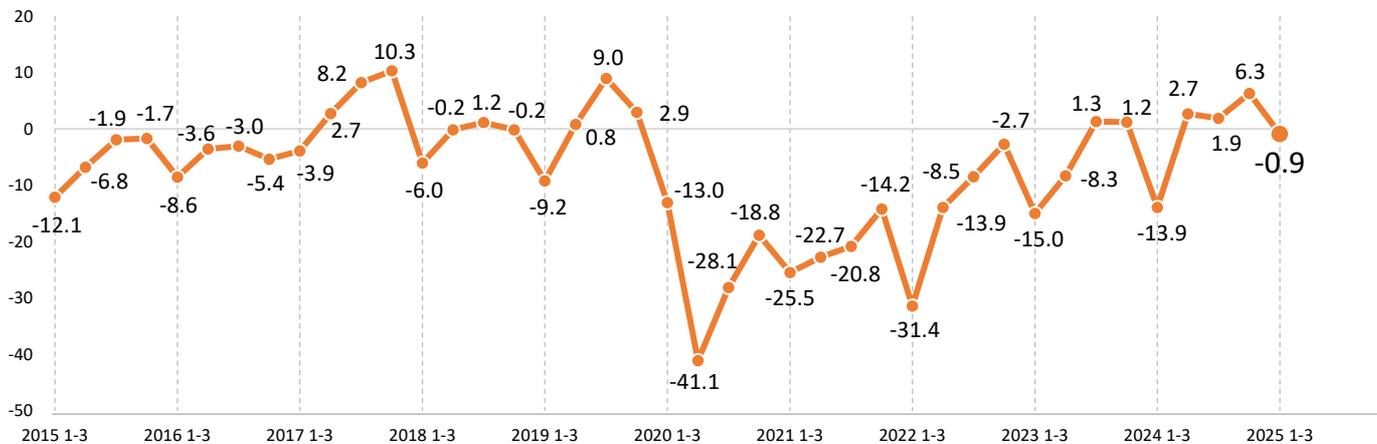
### Ⅲ. 採算(経常利益)

#### 1. 今期

今期の水準

(2025年1~3月期の水準)

全業種平均D・I ≪黒字-赤字≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		黒字	収支トントン	赤字	
全業種	▲ 0.9	26.2%	46.7%	27.1%	6.3
製造	▲ 14.0	19.3%	47.4%	33.3%	▲ 3.5
建設	9.6	31.5%	46.6%	21.9%	12.7
卸売	0.0	28.6%	42.8%	28.6%	12.1
小売	▲ 3.0	23.5%	50.0%	26.5%	2.9
サービス	3.1	28.1%	46.9%	25.0%	7.3

■黒字 □収支トントン ■赤字

前年同期比

(2024年1~3月期の水準と比較した今期の採算)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 21.0	12.4%	54.2%	33.4%	▲ 18.2
製造	▲ 40.4	3.5%	52.6%	43.9%	▲ 28.1
建設	▲ 23.6	8.3%	59.8%	31.9%	▲ 21.1
卸売	▲ 18.5	11.1%	59.3%	29.6%	▲ 15.6
小売	▲ 11.6	17.4%	53.6%	29.0%	▲ 14.7
サービス	▲ 10.9	21.7%	45.7%	32.6%	▲ 11.6

■好転 □不変 ■悪化

#### 2. 来期

前年同期比

(2024年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 20.5	12.0%	55.5%	32.5%	▲ 20.1
製造	▲ 44.6	3.6%	48.2%	48.2%	▲ 27.2
建設	▲ 12.6	11.3%	64.8%	23.9%	▲ 30.0
卸売	▲ 23.6	7.3%	61.8%	30.9%	▲ 17.2
小売	▲ 8.7	17.4%	56.5%	26.1%	▲ 12.0
サービス	▲ 12.9	20.4%	46.3%	33.3%	▲ 14.2

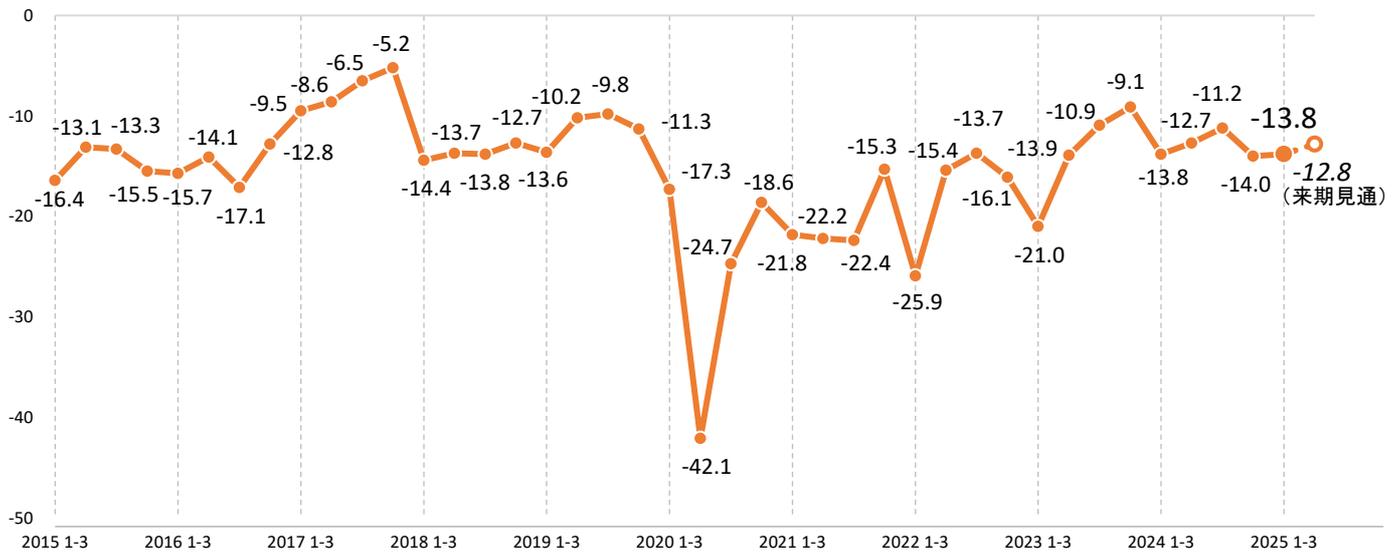
■好転 □不変 ■悪化

## IV. 資金繰り

### 1. 今期

前年同期比

(2024年1~3月期の水準と比較した今期の資金繰り)



#### 業種別D・I値

	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 13.8	6.5%	73.2%	20.3%	▲ 14.0
製造	▲ 22.8	1.8%	73.6%	24.6%	▲ 12.2
建設	▲ 10.9	5.5%	78.1%	16.4%	▲ 15.5
卸売	▲ 16.7	3.7%	75.9%	20.4%	▲ 21.1
小売	▲ 10.1	11.6%	66.7%	21.7%	▲ 14.7
サービス	▲ 8.7	9.8%	71.7%	18.5%	▲ 6.6

■好転 □不変 ■悪化

### 2. 来期

前年同期比

(2024年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

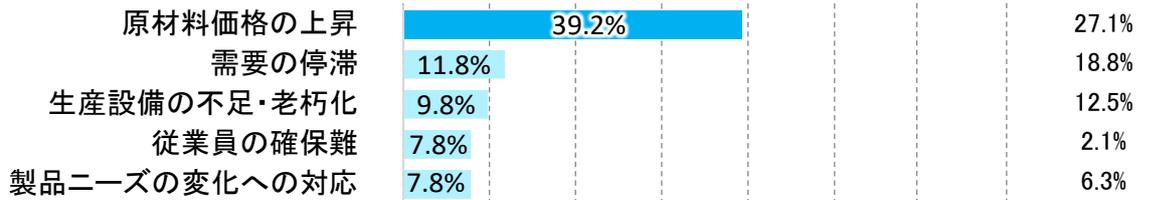
#### 業種別D・I値

	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 12.8	7.4%	72.4%	20.2%	▲ 15.5
製造	▲ 19.6	3.6%	73.2%	23.2%	▲ 14.2
建設	▲ 7.0	8.3%	76.4%	15.3%	▲ 19.7
卸売	▲ 20.4	3.7%	72.2%	24.1%	▲ 22.8
小売	▲ 14.5	7.2%	71.1%	21.7%	▲ 8.8
サービス	▲ 2.2	14.3%	69.2%	16.5%	▲ 12.0

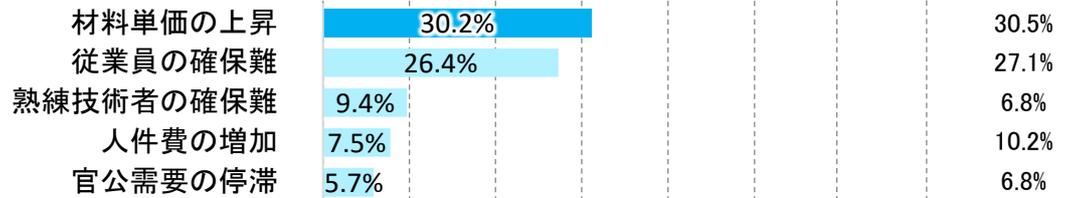
■好転 □不変 ■悪化

## V. 経営上の問題点(上位5項目)

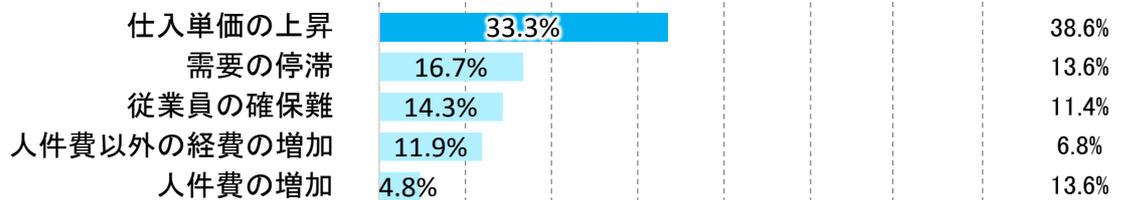
### 製造業



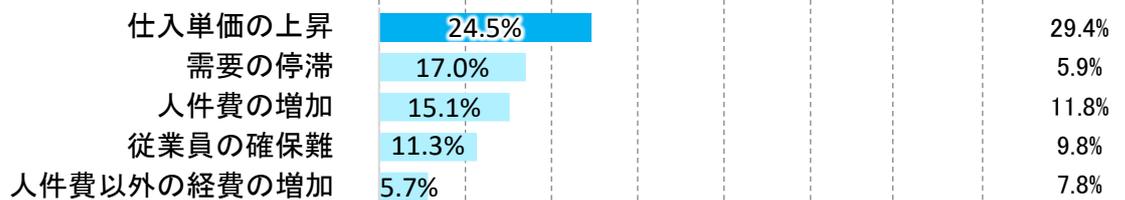
### 建設業



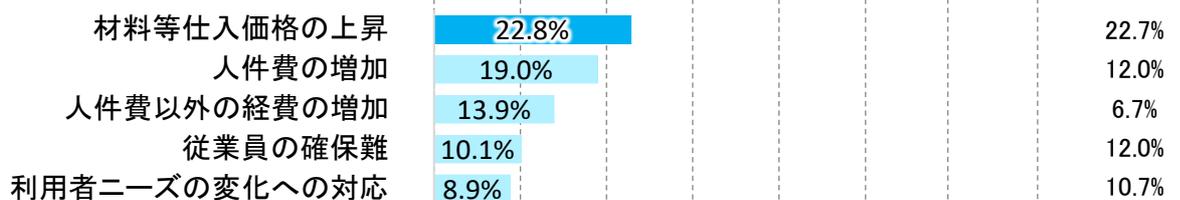
### 卸売業



### 小売業



### サービス業



## VI. 従業員の動向

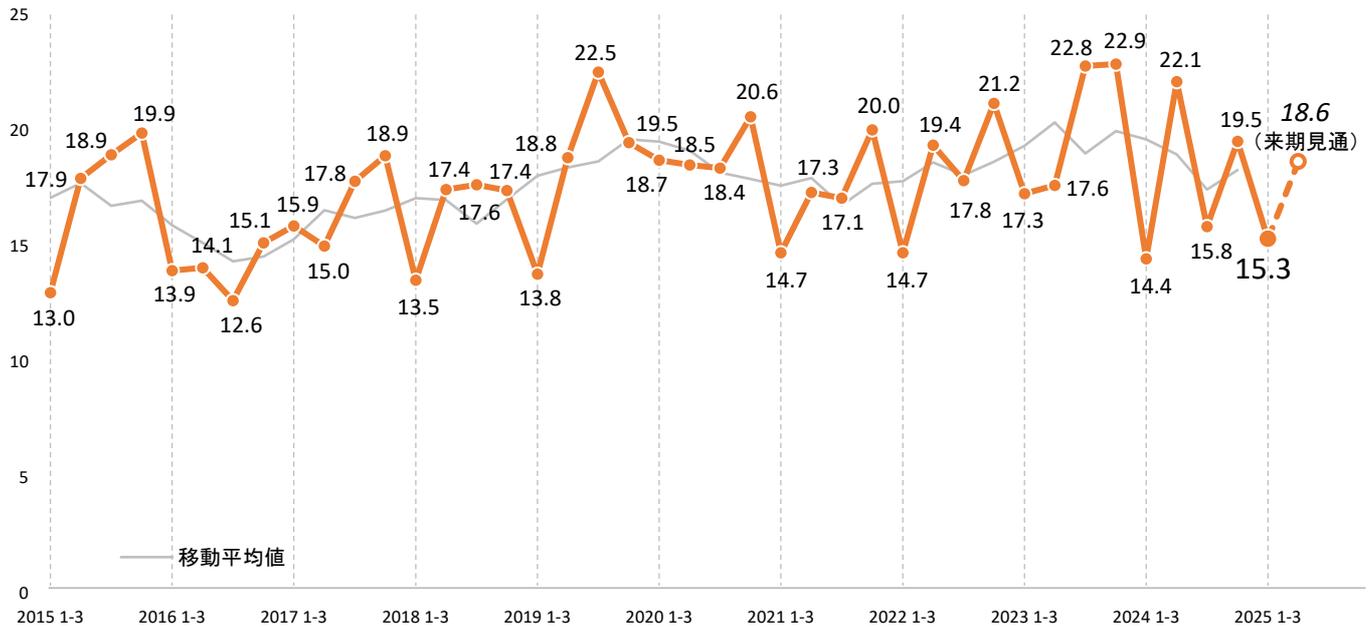
### 業種別D・I値

業種	今回	内訳		前回
		過剰	不足	
全業種	▲ 27.9	2.8%	30.7%	▲ 27.0
製造	▲ 20.4	7.4%	27.8%	▲ 14.3
建設	▲ 36.1	1.4%	37.5%	▲ 44.3
卸売	▲ 22.6	0.0%	22.6%	▲ 24.6
小売	▲ 28.1	1.6%	29.7%	▲ 21.9
サービス	▲ 32.5	3.6%	36.1%	▲ 29.8

■ 過剰 □ 適正 ■ 不足

## VII. 新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



### 1. 今期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	15.3	22.8	15.1	14.3	8.7	15.6
土地	3.2	0.0	9.1	0.0	0.0	6.7
工場建物、建物、店舗	4.7	7.7	9.1	0.0	0.0	6.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	32.7	53.8	36.4	0.0	33.3	40.0
車両運搬具	44.6	38.5	63.6	87.5	0.0	33.3
倉庫・駐車場等の付帯施設	6.7	7.7	9.1	0.0	16.7	0.0
OA機器	39.8	30.8	27.3	37.5	50.0	53.3
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6.7	7.7	9.1	0.0	16.7	0.0
実施していない	84.7	77.2	84.9	85.7	91.3	84.4

### 2. 来期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	18.6	21.1	19.2	14.3	18.8	19.8
土地	8.5	25.0	7.1	0.0	0.0	10.5
工場建物、建物、店舗	21.4	41.7	21.4	12.5	15.4	15.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	27.7	41.7	14.3	12.5	38.5	31.6
車両運搬具	34.9	25.0	57.1	25.0	30.8	36.8
倉庫・駐車場等の付帯施設	10.3	8.3	14.3	0.0	7.7	21.1
OA機器	39.0	25.0	21.4	50.0	46.2	52.6
厚生施設	1.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.5	0.0	7.1	0.0	0.0	5.3
実施しない	81.4	78.9	80.8	85.7	81.2	80.2

# 製造業

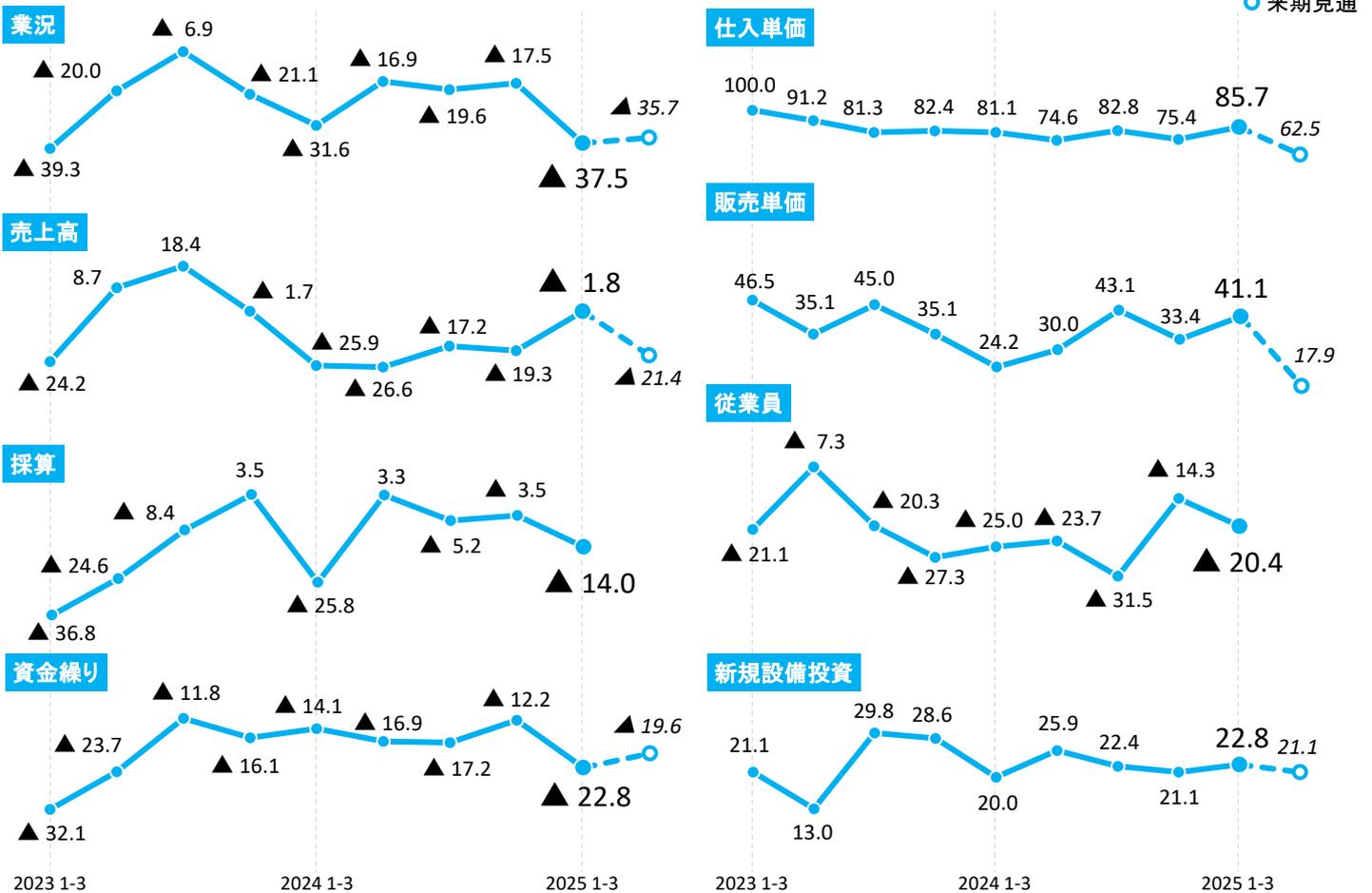
## ■主なコメント

- ・原材料・労務費等のコスト上昇は今後も継続する事が予想される。更なる価格転嫁が必要な中、交渉も厳しさを増してきている。自社の強みを活かした製品の取り扱いを増やすなど価格競争に巻き込まれない経営を目指している。(自動車部品製造)
- ・コロナ禍以降、中食市場は拡大しているが、ご当地ブランドの餃子店の全国進出により競争が激化し減収となった。新商品開発や原価管理強化に取り組み中。(冷凍餃子製造)
- ・原材料価格はやや落ち着いてきたが、先行きはまだまだ不透明。地域経済の縮小を懸念している。(製麺業)

## ■D・I

	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6(見通)
業況(前年同期比)	▲ 39.3	▲ 20.0	▲ 6.9	▲ 21.1	▲ 31.6	▲ 16.9	▲ 19.6	▲ 17.5	▲ 37.5	▲ 35.7
売上高(前年同期比)	▲ 24.2	8.7	18.4	▲ 1.7	▲ 25.9	▲ 26.6	▲ 17.2	▲ 19.3	▲ 1.8	▲ 21.4
採算(今期の経常損益)	▲ 36.8	▲ 24.6	▲ 8.4	3.5	▲ 25.8	3.3	▲ 5.2	▲ 3.5	▲ 14.0	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 32.1	▲ 23.7	▲ 11.8	▲ 16.1	▲ 14.1	▲ 16.9	▲ 17.2	▲ 12.2	▲ 22.8	▲ 19.6
仕入単価(前年同期比)	100.0	91.2	81.3	82.4	81.1	74.6	82.8	75.4	85.7	62.5
販売単価(前年同期比)	46.5	35.1	45.0	35.1	24.2	30.0	43.1	33.4	41.1	17.9
従業員(今期の過不足)	▲ 21.1	▲ 7.3	▲ 20.3	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 23.7	▲ 31.5	▲ 14.3	▲ 20.4	-
新規設備投資した割合	21.1	13.0	29.8	28.6	20.0	25.9	22.4	21.1	22.8	21.1

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



# 建設業

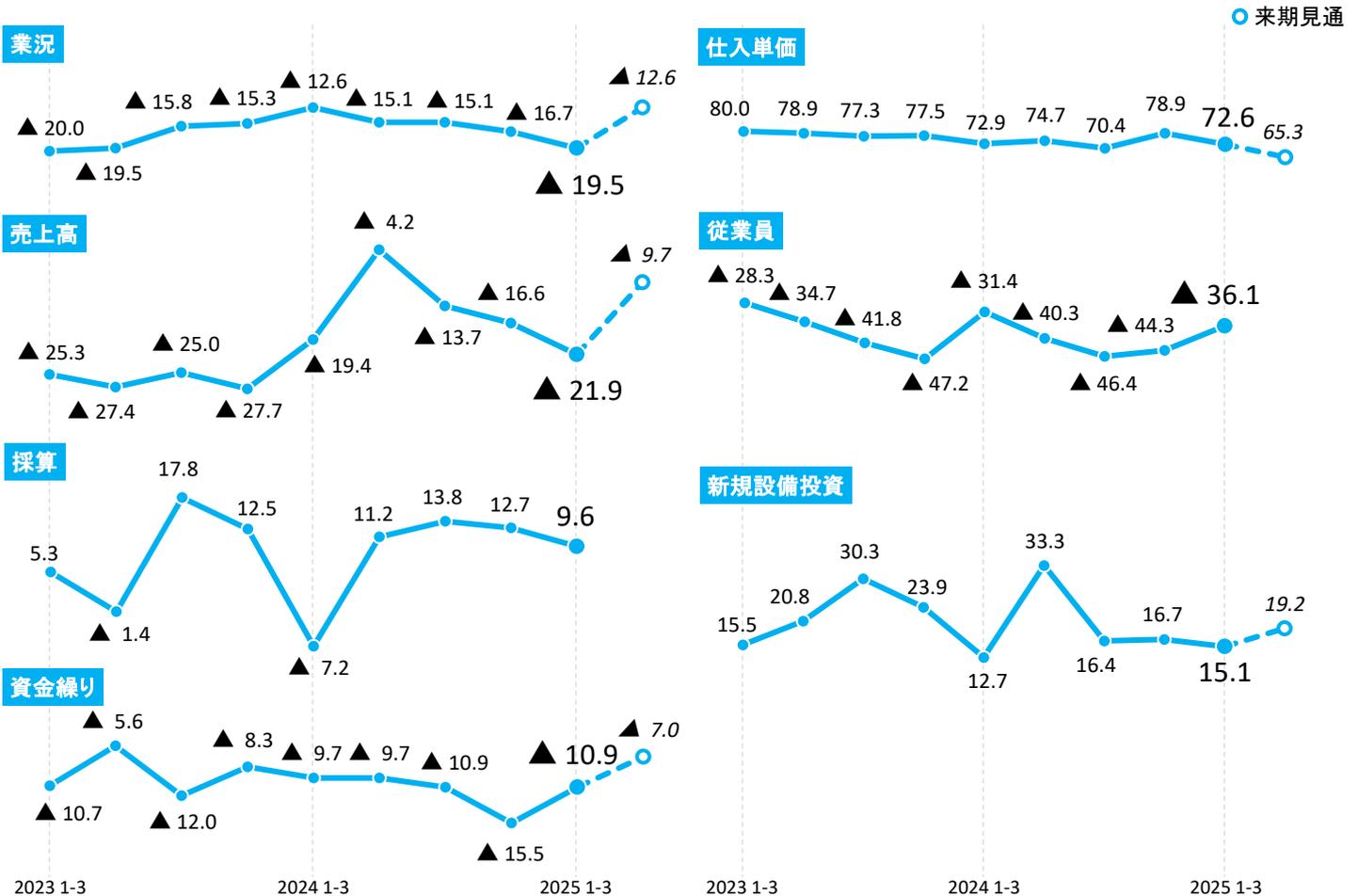
## ■主なコメント

- ・業界の動向として、売上は増加傾向にあるものの資材高騰等による値上げが要因。受注件数自体は減少している。  
(建築塗装業)
- ・技術系大卒社員の採用が困難。売り手市場のなか、札幌や首都圏の大手企業への就職を目指す学生が増えている。  
建築技術者の不足による業績悪化(受注減少)を懸念している。  
(ゼネコン)
- ・民間大口工事の支払条件を交渉も難航。協力業者への支払は借入に頼らざるを得なく、支払利息負担が大きい。  
その分価格転嫁することも検討中。  
(ゼネコン)

## ■D・I

	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 20.0	▲ 19.5	▲ 15.8	▲ 15.3	▲ 12.6	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 16.7	▲ 19.5	▲ 12.6
売上高 (前年同期比)	▲ 25.3	▲ 27.4	▲ 25.0	▲ 27.7	▲ 19.4	▲ 4.2	▲ 13.7	▲ 16.6	▲ 21.9	▲ 9.7
採算 (今期の経常損益)	5.3	▲ 1.4	17.8	12.5	▲ 7.2	11.2	13.8	12.7	9.6	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 10.7	▲ 5.6	▲ 12.0	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 10.9	▲ 15.5	▲ 10.9	▲ 7.0
仕入単価 (前年同期比)	80.0	78.9	77.3	77.5	72.9	74.7	70.4	78.9	72.6	65.3
販売単価 (前年同期比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員 (今期の過不足)	▲ 28.3	▲ 34.7	▲ 41.8	▲ 47.2	▲ 31.4	▲ 40.3	▲ 46.4	▲ 44.3	▲ 36.1	-
新規設備投資した割合	15.5	20.8	30.3	23.9	12.7	33.3	16.4	16.7	15.1	19.2

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



# 卸売業

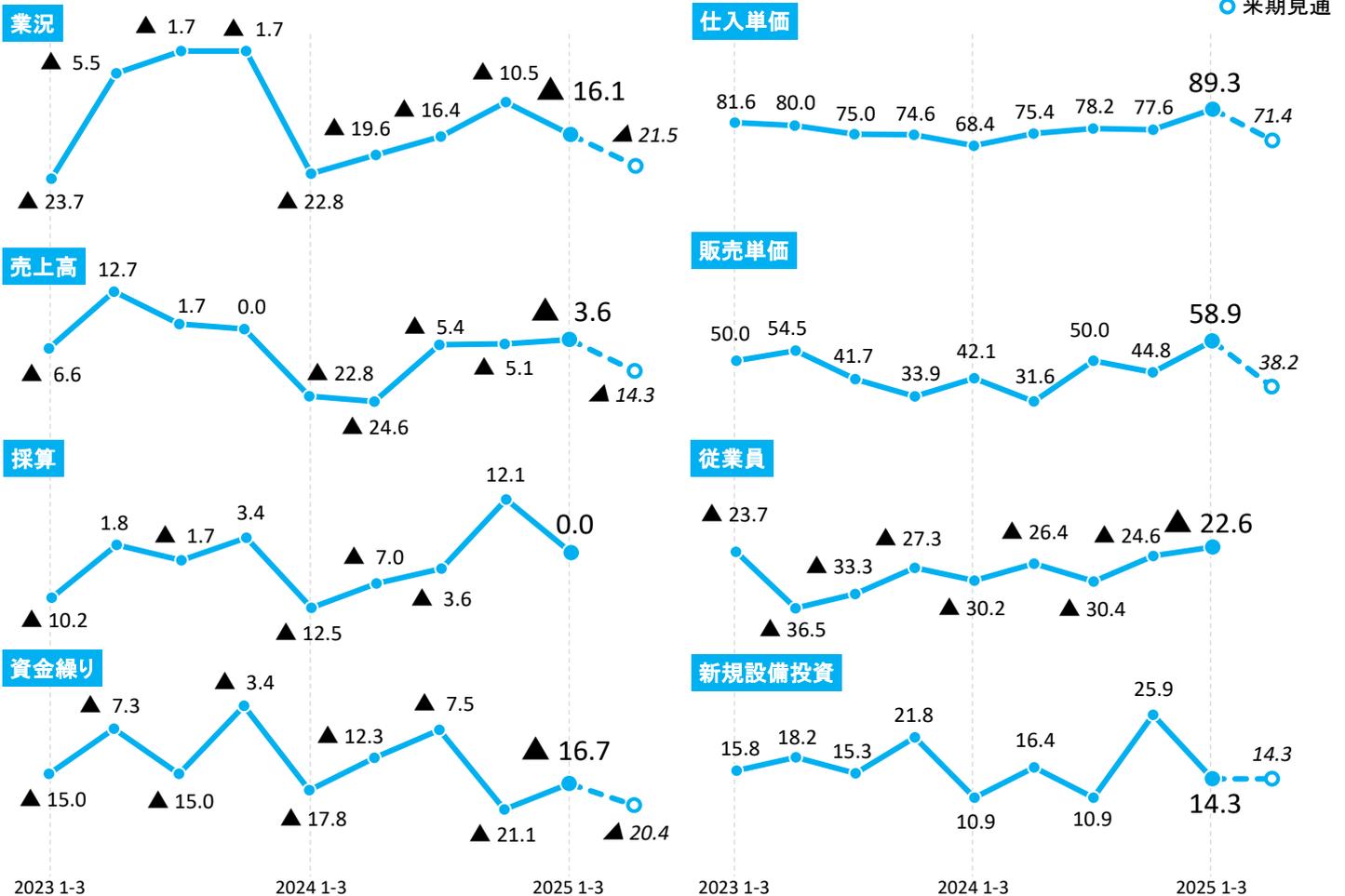
## ■主なコメント

- ・個人消費マインドが悪化している。インバウンドが好調な最大の要因は円安によるコストパフォーマンスが要因であり、行き過ぎた売価上昇には注意が必要。(食肉卸)
- ・航空運賃、ホテル代等の出張に関する経費が増加。効率を重視せざるを得なく行動が一定程度制限され、前向きな営業活動に少なからず影響がある。(一般機械卸)
- ・可処分所得の増加が実感できない状況の中、物価の高止まりで消費行動が高齢者を中心に鈍化している。(その他卸)

## ■D・I

	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 23.7	▲ 5.5	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 22.8	▲ 19.6	▲ 16.4	▲ 10.5	▲ 16.1	▲ 21.5
売上高 (前年同期比)	▲ 6.6	12.7	1.7	0.0	▲ 22.8	▲ 24.6	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 3.6	▲ 14.3
採算 (今期の経常損益)	▲ 10.2	1.8	▲ 1.7	3.4	▲ 12.5	▲ 7.0	▲ 3.6	12.1	0.0	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 15.0	▲ 7.3	▲ 15.0	▲ 3.4	▲ 17.8	▲ 12.3	▲ 7.5	▲ 21.1	▲ 16.7	▲ 20.4
仕入単価 (前年同期比)	81.6	80.0	75.0	74.6	68.4	75.4	78.2	77.6	89.3	71.4
販売単価 (前年同期比)	50.0	54.5	41.7	33.9	42.1	31.6	50.0	44.8	58.9	38.2
従業員 (今期の過不足)	▲ 23.7	▲ 36.5	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 30.2	▲ 26.4	▲ 30.4	▲ 24.6	▲ 22.6	-
新規設備投資した割合	15.8	18.2	15.3	21.8	10.9	16.4	10.9	25.9	14.3	14.3

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



# 小売業

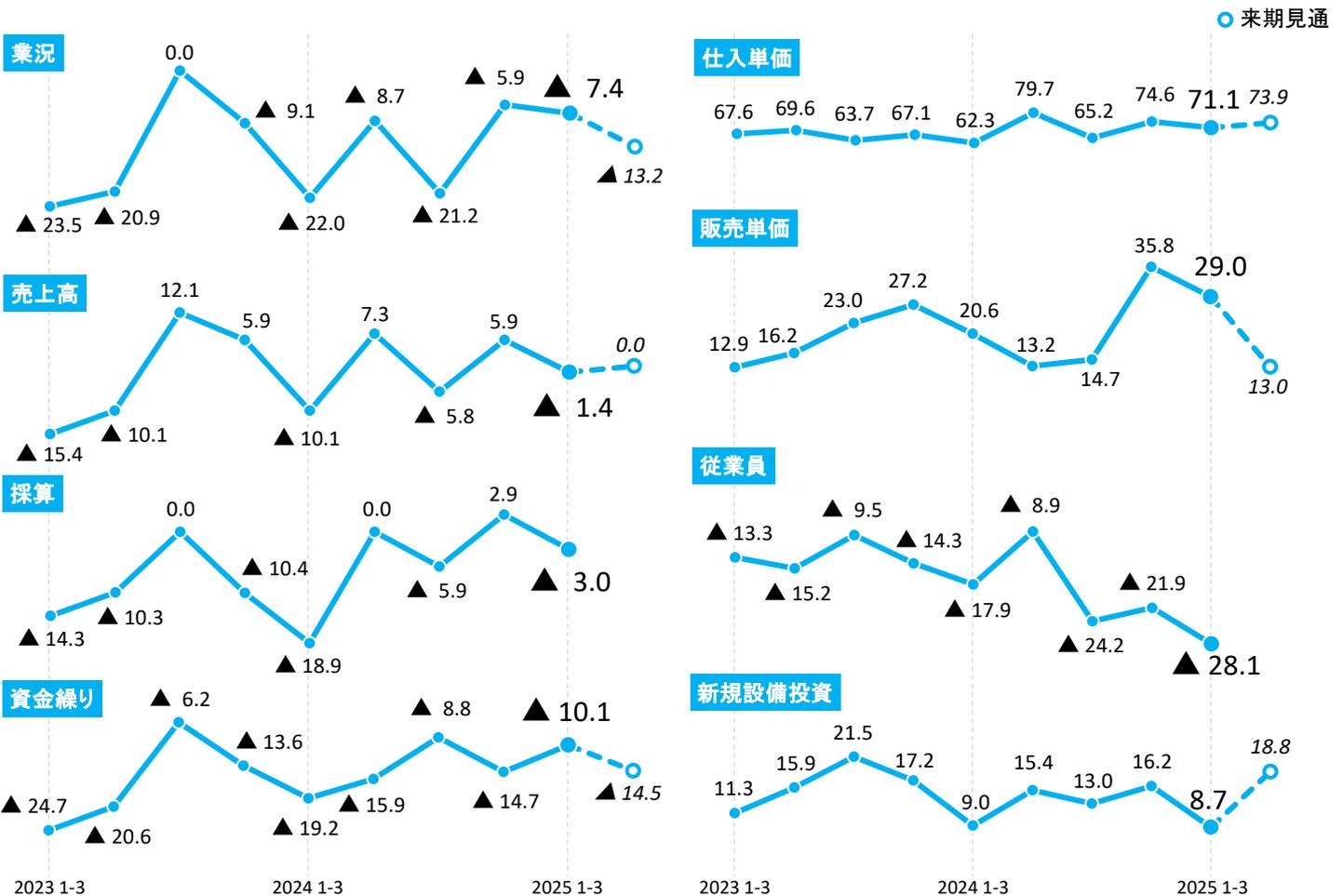
## ■主なコメント

- ・インバウンド需要は好調を維持しているが、国内のお客さま離れの影響やインバウンドの好調がいつまで続くのかに不安を感じる。 (百貨店)
- ・悪天候時には売上減少。原材料、包装資材の値上がりが止まらず仕入調整により対応も追いついていない。今後の仕入にかかる値上げも継続される見通しから利益の減少に歯止めがかからない。 (菓子製造・小売)
- ・従業員からの賃上げ圧力が強くなってきた。消費税支払い時の資金繰りや社会保険支払の負担が大きい。売上が上がってもほぼ税金等でなくなる感覚がする。 (花卉小売)

## ■D・I

	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 23.5	▲ 20.9	0.0	▲ 9.1	▲ 22.0	▲ 8.7	▲ 21.2	▲ 5.9	▲ 7.4	▲ 13.2
売上高 (前年同期比)	▲ 15.4	▲ 10.1	12.1	5.9	▲ 10.1	7.3	▲ 5.8	5.9	▲ 1.4	0.0
採算 (今期の経常損益)	▲ 14.3	▲ 10.3	0.0	▲ 10.4	▲ 18.9	0.0	▲ 5.9	2.9	▲ 3.0	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 24.7	▲ 20.6	▲ 6.2	▲ 13.6	▲ 19.2	▲ 15.9	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 10.1	▲ 14.5
仕入単価 (前年同期比)	67.6	69.6	63.7	67.1	62.3	79.7	65.2	74.6	71.1	73.9
販売単価 (前年同期比)	12.9	16.2	23.0	27.2	20.6	13.2	14.7	35.8	29.0	13.0
従業員 (今期の過不足)	▲ 13.3	▲ 15.2	▲ 9.5	▲ 14.3	▲ 17.9	▲ 8.9	▲ 24.2	▲ 21.9	▲ 28.1	-
新規設備投資した割合	11.3	15.9	21.5	17.2	9.0	15.4	13.0	16.2	8.7	18.8

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



# サービス業

## ■主なコメント

・毎月のように仕入価格が上昇している。安易に再値上げすることもできず、厳しい経営が続いている。

(飲食業)

・半導体不足の影響で部品の納期が不定期となり、これまでの繁忙サイクルから変動が見られる。整備士の人材不足は深刻、人手不足で工場閉鎖の事業者も出てきた。逆に整備士不足からリース会社から言い値で受注できるようになった。(自動車整備)

・輸送価格上昇分をエンドユーザーに求めているが、一方で取引先も仕入高騰分を補うべく運賃値下げの要請もある。

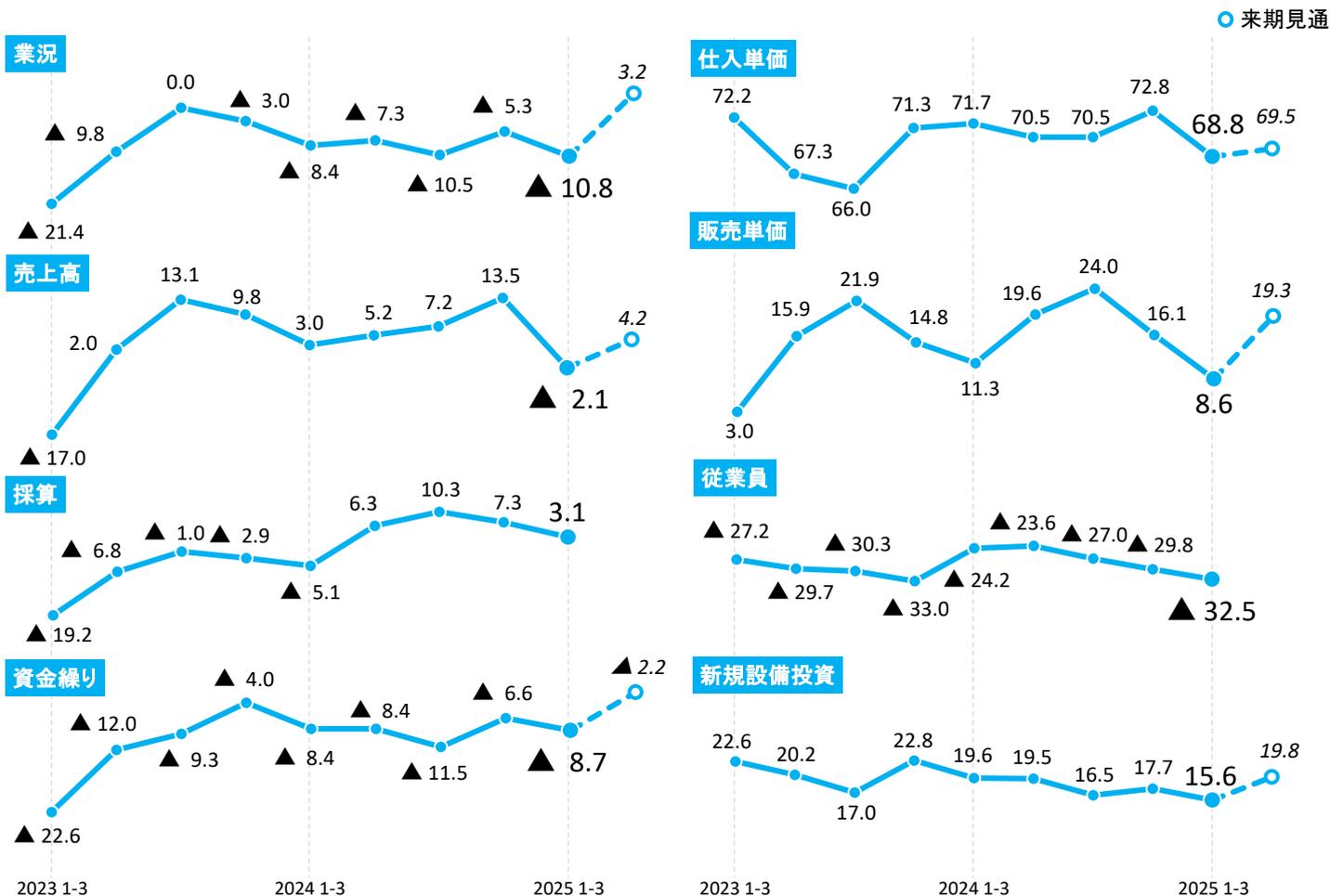
取引関係から応じざるを得ないのが現状としてある。

(運輸サービス業)

## ■D・I

	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 21.4	▲ 9.8	0.0	▲ 3.0	▲ 8.4	▲ 7.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 10.8	3.2
売上高 (前年同期比)	▲ 17.0	2.0	13.1	9.8	3.0	5.2	7.2	13.5	▲ 2.1	4.2
採算 (今期の経常損益)	▲ 19.2	▲ 6.8	▲ 1.0	▲ 2.9	▲ 5.1	6.3	10.3	7.3	3.1	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 22.6	▲ 12.0	▲ 9.3	▲ 4.0	▲ 8.4	▲ 8.4	▲ 11.5	▲ 6.6	▲ 8.7	▲ 2.2
仕入単価 (前年同期比)	72.2	67.3	66.0	71.3	71.7	70.5	70.5	72.8	68.8	69.5
販売単価 (前年同期比)	3.0	15.9	21.9	14.8	11.3	19.6	24.0	16.1	8.6	19.3
従業員 (今期の過不足)	▲ 27.2	▲ 29.7	▲ 30.3	▲ 33.0	▲ 24.2	▲ 23.6	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 32.5	-
新規設備投資した割合	22.6	20.2	17.0	22.8	19.6	19.5	16.5	17.7	15.6	19.8

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



## VIII. 調査要領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2025年3月  
(2) 調査対象期間 2025年1～3月期実績及び2025年4～6月期見通し

### 2. 調査対象

#### (1) 中小企業景況調査

「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、  
「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、  
「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、  
「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。

来期は新;

#### (2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。  
また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

### 3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)  
全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

### 4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	44	58	38	58	72	270
中規模	13	15	18	11	24	81
合計	57	73	56	69	96	351
構成比	16.2%	20.8%	16.0%	19.7%	27.3%	100.0%

#### 〈業界動向調査〉

ヒアリング先

製造業 40社、建設業 34社、卸売業 23社、  
小売業 29社、サービス業 44社 合計 170社

■過去の調査結果はコチラ



【URL】 <https://www.hokkaido.cci.or.jp/demand/research/>

#### D・Iとは…

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。